

# 小学校でのキャリア教育

## 「学習意欲」の向上につながるキャリア教育 -重点目標・具体的目標の設定-

児童の学習意欲の向上が見られる学校ほど  
学級担任が積極的にキャリア教育の取組を進めています。

キャリア教育の全体計画や年間指導計画に重点目標・具体的目標を設定し、大切なことを明確にしてキャリア教育に取り組むと、学習意欲の向上につながることを示されました。

※「学習意欲の向上が見られる」とは、管理職と学級担任が「キャリア教育の実践によって学習全般に対する児童の意欲が向上していると捉えている」ことを表します。

### 学級担任の取組

キャリア教育における取組内容	学習意欲の向上あり	学習意欲の向上なし
様々な立場や考えの相手に対して、その意見を聴き理解しようとする	67.4%	46.1%
不得意なことや苦手なことでも、自分の成長のために進んで取り組もうとする	56.9%	49.1%
相手が理解しやすいように、自分の気持ちを整理して伝える	49.5%	41.5%
学ぶことや働くことの意義について理解し、学校での学習と自分の将来をつなげて考える	42.6%	29.2%

(第二次報告書P34)

## 「今ある宝」で進めるキャリア教育

データによると、キャリア教育の教育課程への位置付けが進み、実施状況は高まっています。

教育課程上の学習の機会ごとにキャリア教育を実施している割合を見ると…

道徳・学級活動 **92.3%**      総合的な学習の時間 **91.9%**      各教科 **87.2%**

キャリア教育の学習内容等でよく行われているものは…

中学校への訪問や見学、体験入学、学校説明会 **88.9%**

(第一次報告書P70)

## キャリア・カウンセリング(対話)を通じた個別の支援を

キャリア・カウンセリングの良さや必要性が理解されていないことや、「キャリア・カウンセリングの方法がわからない」等により、実施率は伸び悩んでいます。キャリア発達を促すために、小学校段階から自立的に生きていけるように支援するキャリア・カウンセリングが重要です。

キャリア教育におけるキャリア・カウンセリングの活用は…

年間指導計画に位置付けている **5.7%**      実施している **4.7%**      やり方がわからない **37.4%**

(第一次報告書P58,P83,P86)

## 事例 学びの大切さに気付かせる機会を

重点目標や具体的目標を諸計画にはっきりと位置付け、取組を進めましょう。そのようなキャリア教育を通じて、夢や目標を実現するためには学ぶことが大切であることに気付かせましょう。

例えば、学ぶことと働くことの意義について理解させたり、自分の将来について具体的な目標を立てさせたりすることをねらい、地域の方々を中心に様々な立場の講師を招き、講話を実施している学校もあります。



## 事例 例えば算数や総合的な学習の時間では

### 算数の時間

#### 手法

ペア学習やグループ学習などの学習方法を通して、人間関係形成・社会形成能力、課題対応能力の育成を図る。

#### 実践

- ペア学習の際に、ノートに書かれている式をそのまま読み上げるのではなく、「どうしてそのように考えたのか」、式の意味を説明させるように働きかける。
- 聞く側が、自分の考えと比べたり、友達の説明の良い点を見つけながら聞けるようにする。



### 総合的な学習の時間「見つけよう、今の自分、未来の自分」(高学年)

#### 手法

自らの将来について探求的に学ぶ中で、異年齢交流などによりキャリアプランニング能力や自己理解・自己管理能力の育成を図る。

#### 実践

- 中学生の職場体験発表会を、小学校を会場に開催し、参観することによって将来の見通しをもたせるとともに、今の自分を振り返らせる。

## 事例 一人一人の思いを大切にした対話を

子供たちと温かで教育的な人間関係を築きながら、カウンセリング(対話)を通して一人一人の思いを大切に「個別の支援」に力を入れていきましょう。

例えば、複数の小学校の4年生で実施されている「二分の一人式」などの機会を利用することもできます。「二分の一人式」に向けた教師と児童との話し合い(対話)を通じて、自らのこれまでの生活を振り返り、感謝の気持ちを持ち、これからの人生の見通しをもたせ、自分の生き方について考えるように促すことができます。

